



2023年4月期 3Q
決算補足説明資料

証券コード 4750

株式会社ダイサン

2023年3月2日

社名		株式会社ダイサン
設立		1975年4月
本社所在地		大阪市中央区南本町2丁目6番12号 サンマリオンタワー3階
資本金		1億円 2023年1月20日現在
ISO9001		2000年7月 認証取得
取引市場		株式会社 東京証券取引所 スタンダード市場 (4750)

第3四半期 連結業績概要

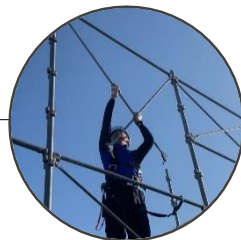
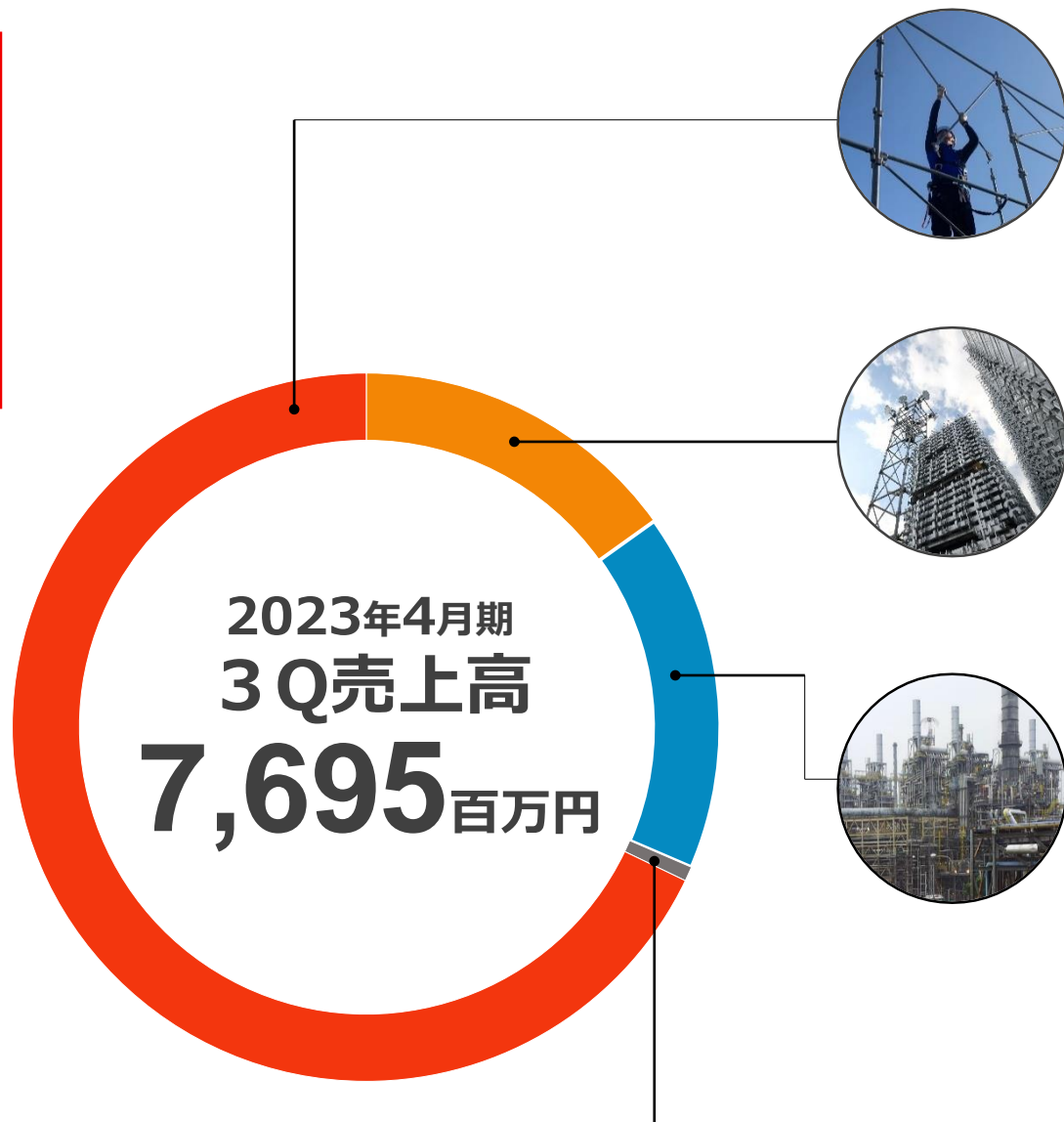
(単位：百万円)

連結業績	金額		前年同期差額	前年同期比
	前期3Q実績	当期3Q実績		
売上高	7,104	7,695	+590	108.3%
売上原価	5,093	5,577	+484	109.5%
売上総利益	2,011	2,118	+106	105.3%
販管費	2,177	2,339	+162	107.4%
営業損失	△ 165	△ 221	△ 55	—
経常損失	△ 87	△ 154	△ 67	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 75	△ 153	△ 78	—

(単位：百万円)

単体業績	金額		前年同期差額	前年同期比
	前期3Q実績	当期3Q実績		
売上高	6,268	6,437	+168	102.7%
売上原価	4,423	4,575	+151	103.4%
売上総利益	1,845	1,862	+16	100.9%
販管費	1,849	1,891	+42	102.3%
営業損失	△ 4	△ 29	△ 25	—
経常損失	△ 8	△ 22	△ 14	—
四半期純利益及び 四半期純損失	4	△ 26	△ 31	—

セグメント情報



67.9% 施工サービス事業

ビケ足場等を使用した設計、施工サービス



15.1% 製商品販売事業

ビケ足場、レボルト、枠組み足場等足場用仮設機材の開発・製造・販売および一般仮設材の製造販売



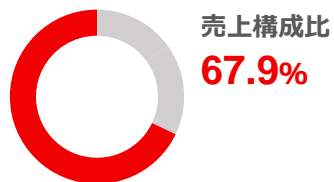
16.3% 海外事業

シンガポールにて主にプラントのメンテナンス向けに、足場工事を中心とした熱絶縁工事や電気工事などの付帯工事を受注する事業を展開

0.7% その他

業務受託及び保険代理店ほか

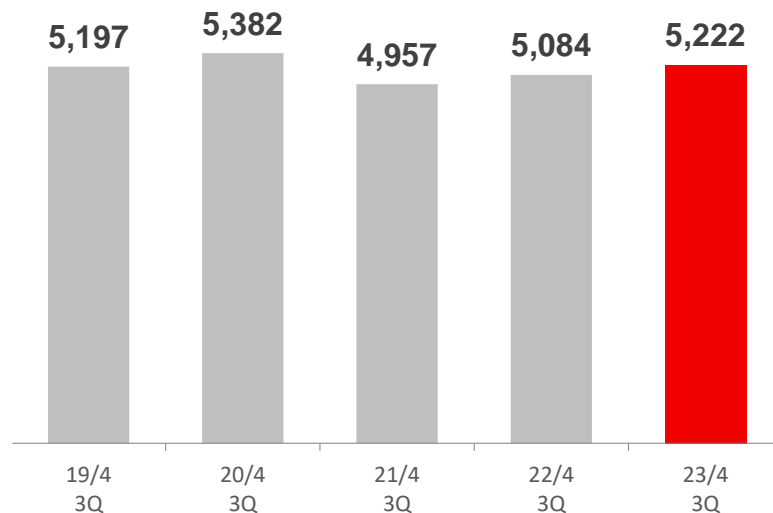
セグメント情報



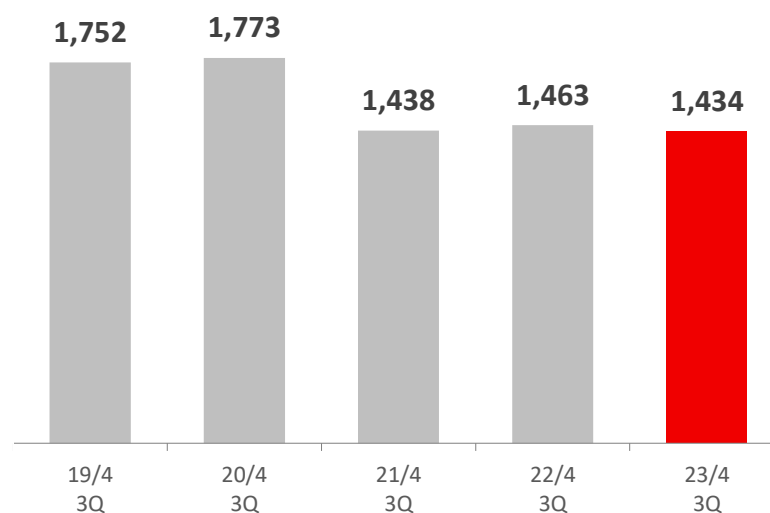
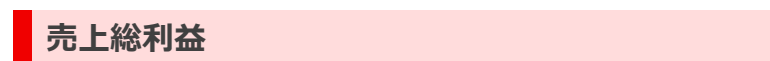
(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	5,084	5,222	+138	102.7%
売上総利益	1,463	1,434	△29	98.0%

(単位：百万円)



(単位：百万円)



第3四半期 業績概要 製商品販売事業



セグメント情報

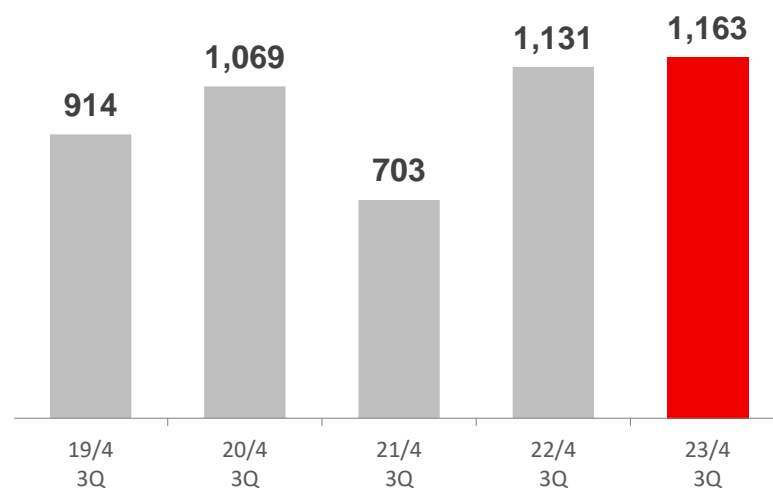


(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	1,131	1,163	+31	102.8%
売上総利益	344	387	+43	112.5%

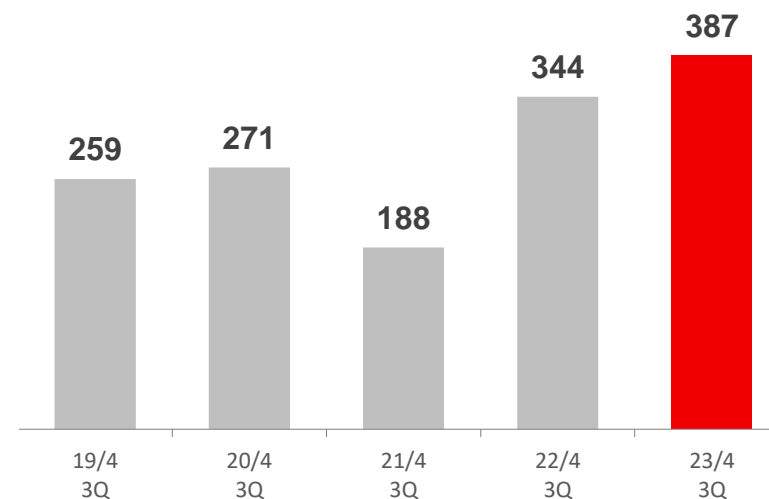
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

売上総利益



セグメント情報

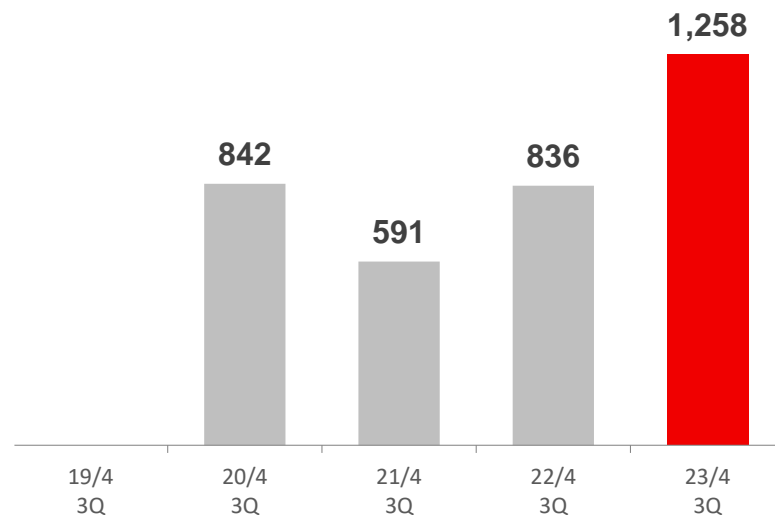


(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	836	1,258	+422	150.5%
売上総利益	166	256	+89	154.2%

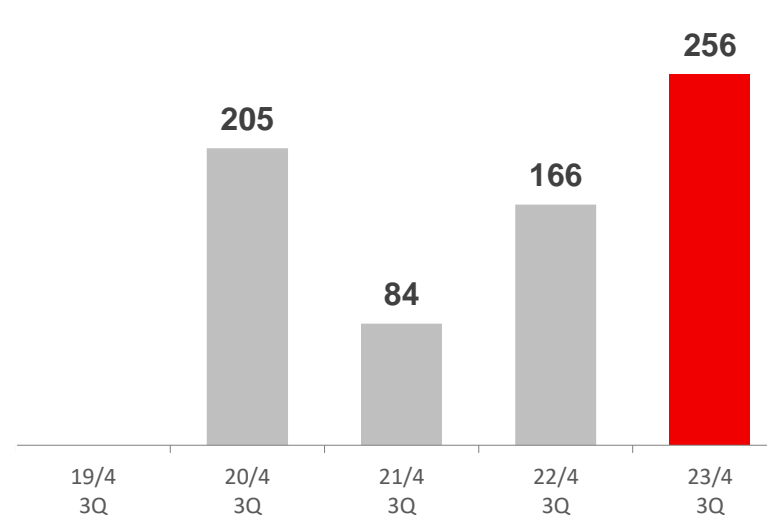
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

売上総利益



※ 2020年4月期よりセグメントに海外事業を追加しているため、2019年4月期の値を記載しておりません。

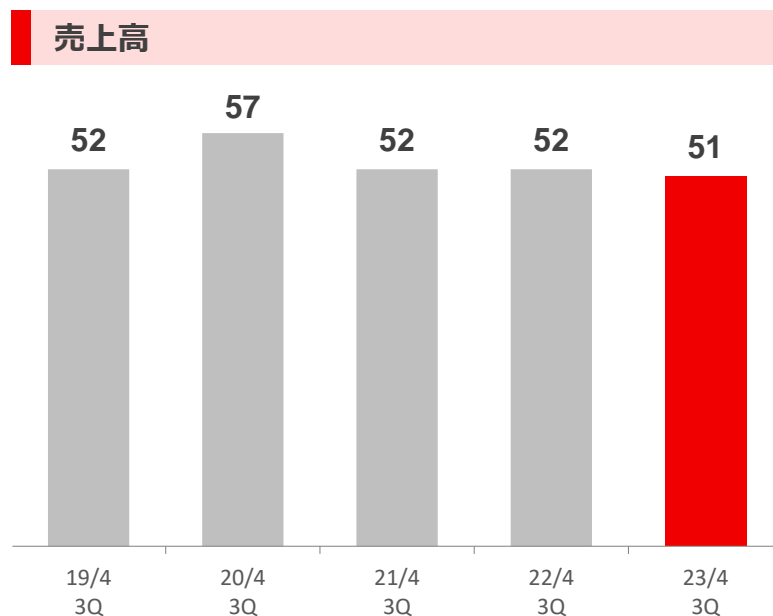
セグメント情報



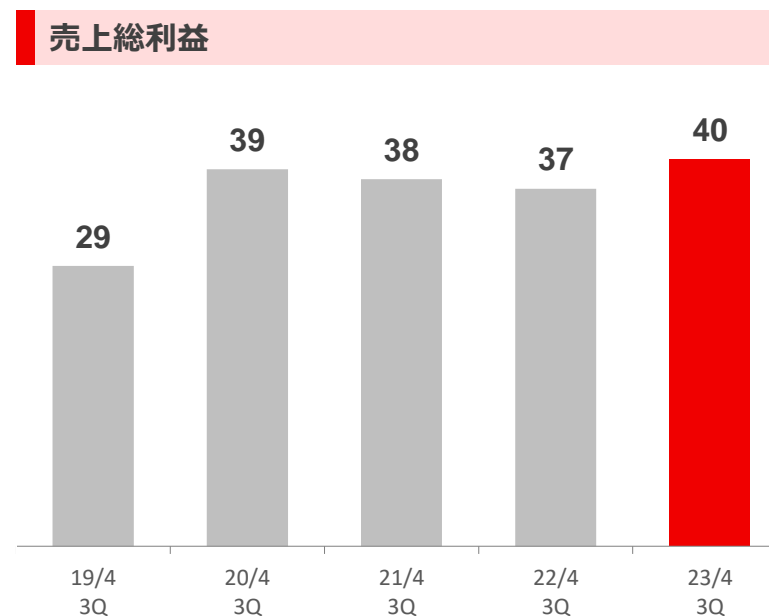
(単位：百万円)

	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
売上高	52	51	△0	98.2%
売上総利益	37	40	+3	108.5%

(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)

前期末

流動資産 5,783	流動負債 2,682
	967 固定負債
固定資産 4,433	純資産 6,566
資産合計 10,216	負債純資産合計 10,216

自己資本比率
一株当たり純資産

63.9%
1,018.82円

(単位：百万円)

当期

流動資産 6,090	流動負債 3,797
	925 固定負債
固定資産 5,083	純資産 6,450
資産合計 11,173	負債純資産合計 11,173

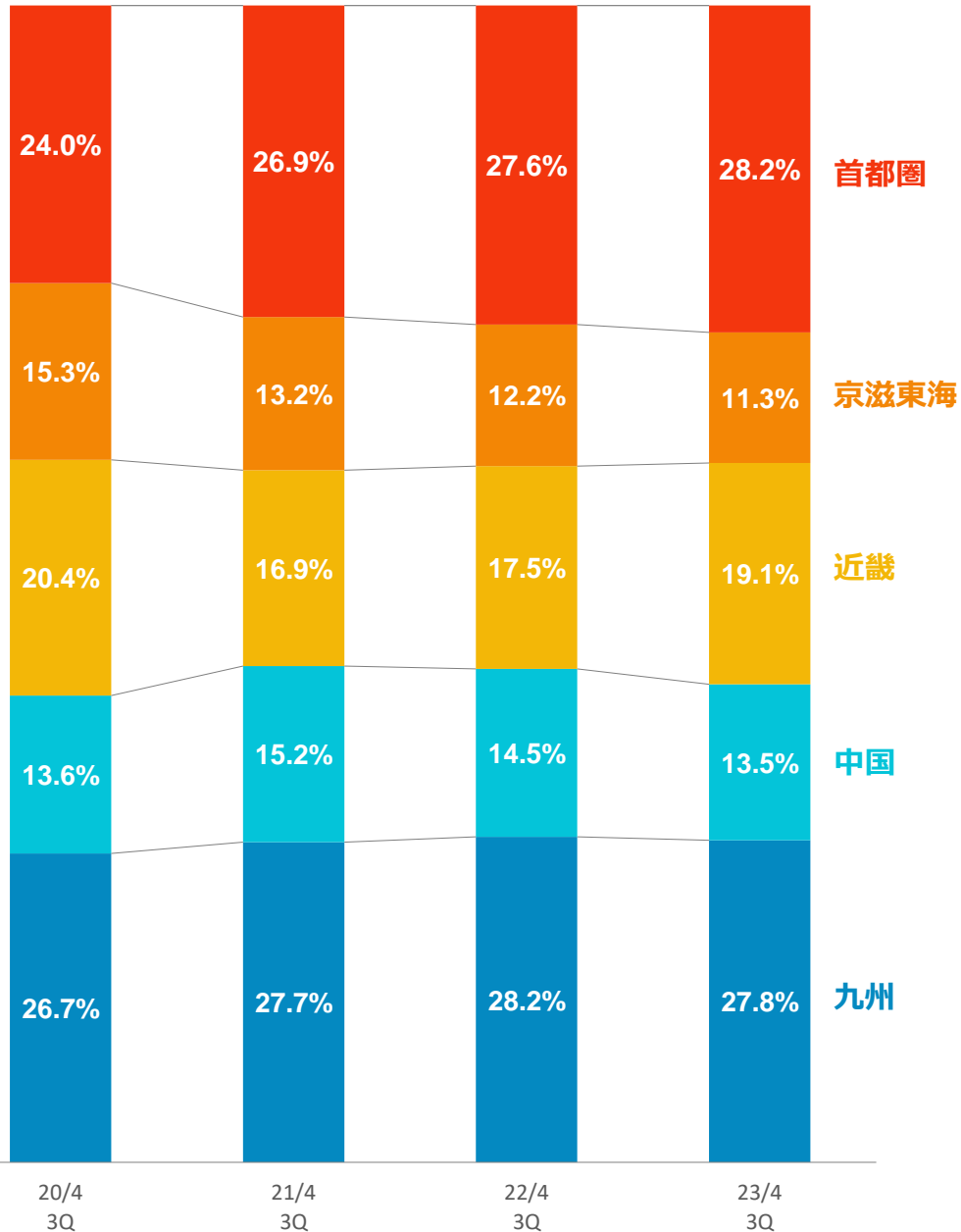
自己資本比率
一株当たり純資産

57.7%
1,005.93円

施工サービス事業 エリア別売上高



セグメント情報



■ 施工サービス事業における
当事業年度の主な設備の異動

● 2022年 12月

九州

福岡東SC移転

施工サービス事業 商品別売上高



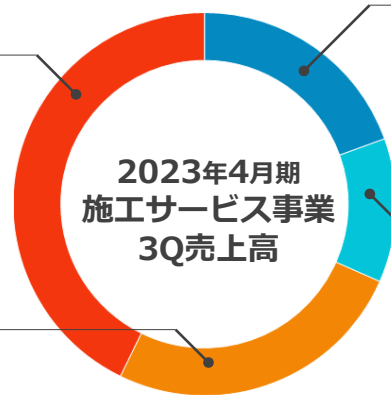
注文住宅 42.8%

主に施主様が土地を購入し、
建物を建築する際の足場
※1棟の受注が多い



リフォーム 25.6%

増改築工事、外装工事などの
リフォーム現場向け足場



大型建築物 19.4%

マンション、工場、店舗などの
大型建築物向け足場



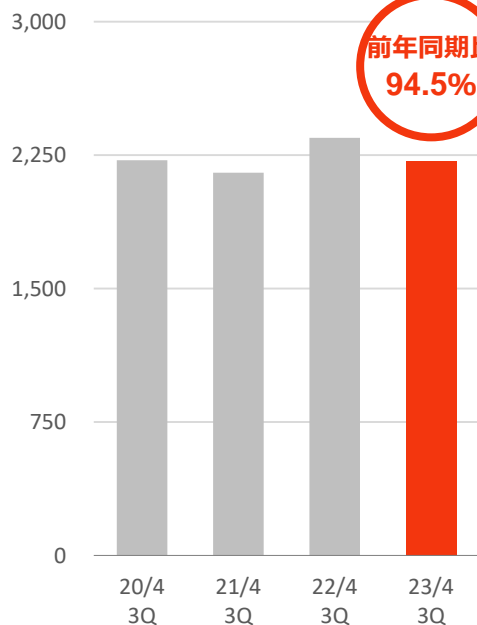
分譲住宅 12.2%

主に不動産会社が土地を購入し、
建物を建築する際の足場
※複数棟の受注が多い



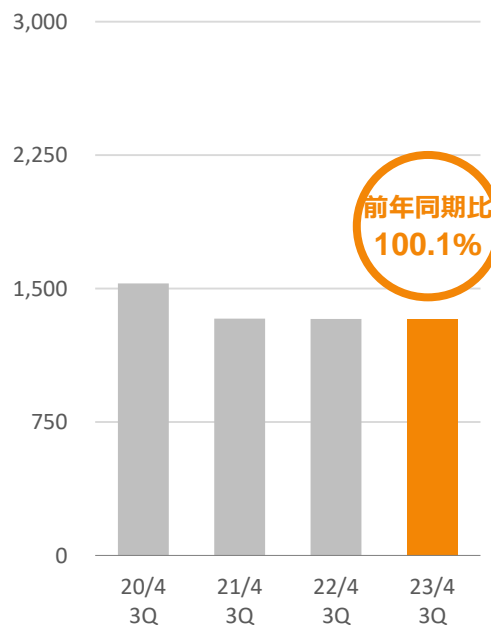
注文住宅

(百万円)



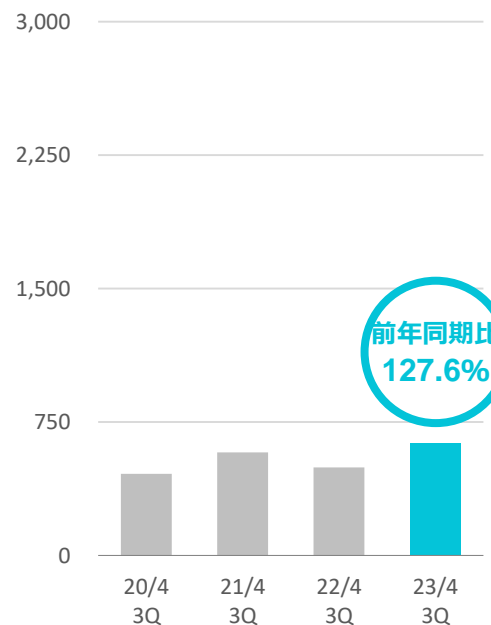
リフォーム

(百万円)



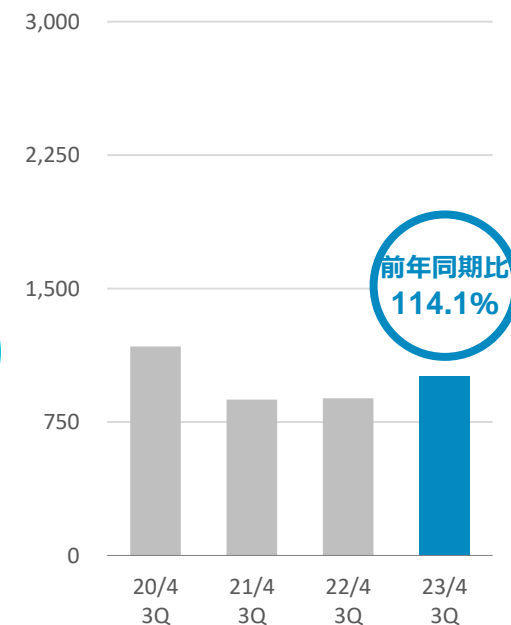
分譲住宅

(百万円)



大型建築物

(百万円)



製商品販売事業 商品別売上高



セグメント情報

(単位：百万円)

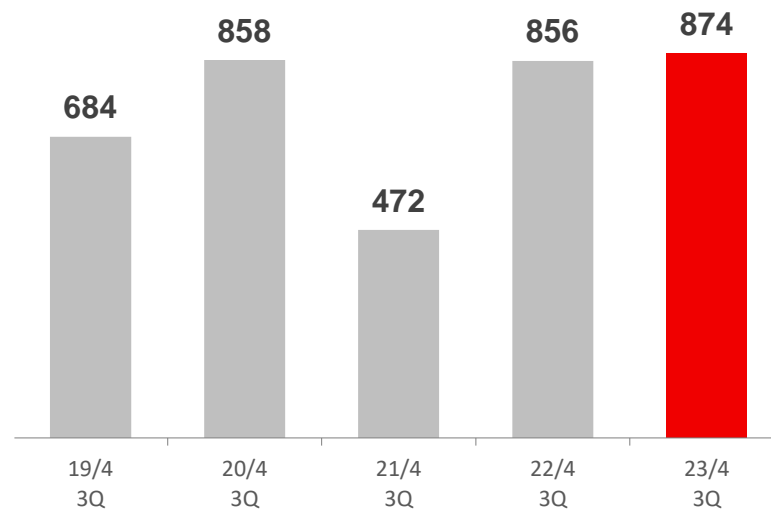
	金額		前期同期差額	前期同期比
	前期 3 Q	当期 3 Q		
ビケ部材等 ※ 1	856	874	+17	102.1%
一般仮設 ※ 2	275	289	+13	105.0%

※1 当社が製造する「ビケ足場」の各種部材他、新型足場

※2 ビルなどの中高層建築工事や橋梁などの土木工事で使われる一般仮設材

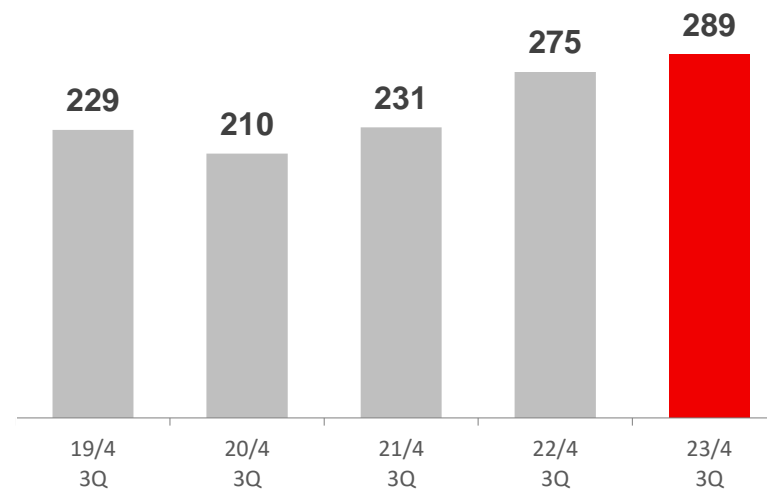
(単位：百万円)

ビケ部材等



(単位：百万円)

一般仮設



当期の見通し 業績予想・配当



2022年6月1日に公表いたしました2023年4月期（2022年4月21日～2023年4月20日）の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年3月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

修正の主な要因として、施工サービス事業においては、主要な取引先であるハウスメーカー様の業績は好調に推移しておりますが、新設住宅着工戸数は貸家及び分譲住宅が前年比で増加したものの、持ち家については減少となりました。

施工人員の確保においては、入国制限中に採用を進めていた特定技能及び外国人技能実習生を一斉に国内に迎え入れることができたため、施工スタッフ数を大幅に増やすことができましたが、配属のための諸経費および、現場稼働までの時間を要する期間における固定費が増加し、利益を圧迫する結果となりました。また、外部の施工ネットワーク構築に向けた活動も実を結び、さらなる施工力の拡大も進めてまいりましたが、人件費を含むコスト増加による価格転嫁が想定通りに進まなかった結果、利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

製商品販売事業においては、資材価格の高騰により先行き不透明な状況が続き、建設用仮設機材のレンタル需要が高まったことにより「ビケ足場®」の売上高が伸び悩みましたが、営業活動を積極的に推進した次世代足場「レポルト®」は引き合いが増加しており、過去最高の売上高を更新する見込みとなりました。原材料価格の高騰に対して前期末から製商品の販売価格引き上げを継続した結果、利益率の改善が当初予想を上回る見込みとなりました。

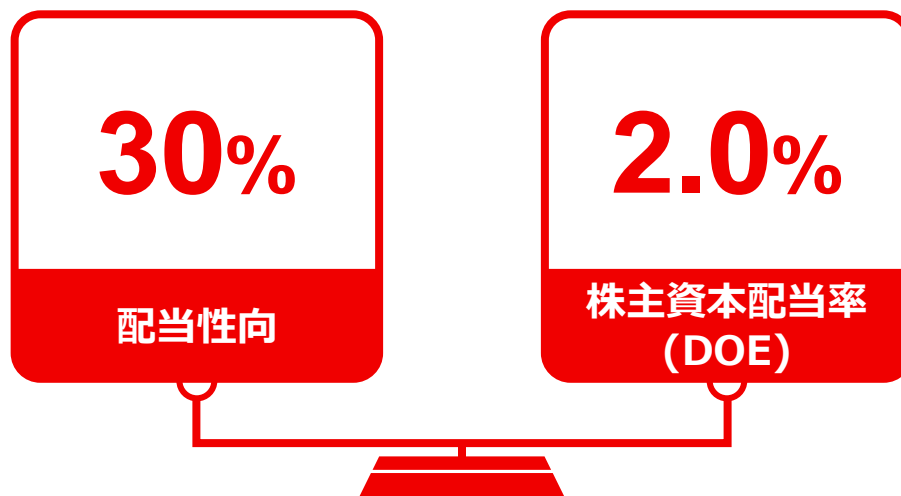
海外事業部において、在外子会社のあるシンガポールでは、新型コロナウイルスの影響による規制が緩和され、景気の回復が進みました。このような状況の中、プラント向け人材派遣を中心にコロナ禍前の水準近くまで受注の回復が進みました。しかし、入国制限期間においては、現場スタッフを確保するための採用費が増加すると見込んでおりましたが、迅速な確保を優先したことによる採用費の前倒し計上、寮の供給不足など入国制限解消後の固定費が想定以上に利益を圧迫したことから、利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

（単位：百万円）

	金額		前期差額	前期比
	22/4期実績	23/4期予想		
売上高	9,700	10,602	+901	109.3%
営業利益 又は営業損失	△16	△76	△59	—
経常利益	79	△11	△90	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	50	△92	△142	—

基本方針

当社は、利益配分に関しましては、企業価値の向上と株主の皆様への還元の結びつきをより明確にできるよう、配当性向30%、もしくは株主資本配当率DOE 2.0%のうち、いずれか高い方を下限として利益配分させていただくことを基本方針としております。



いずれか高い方を下限として利益配分

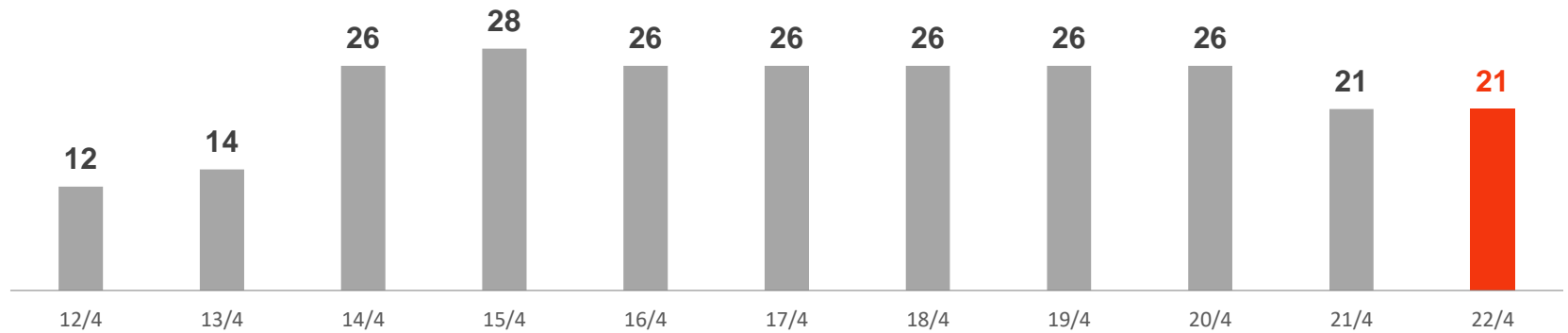
これらの方針により、当期の配当金は、中間10円、期末11円の1株当たり年間配当金21円とさせていただく予定であります。なお、株価の動向、経営環境の変化等を考慮した上で、適宜、自己株式の取得を検討してまいります。

当期の見通し 配当方針

※ 20/4月期より連結決算を開始しております。



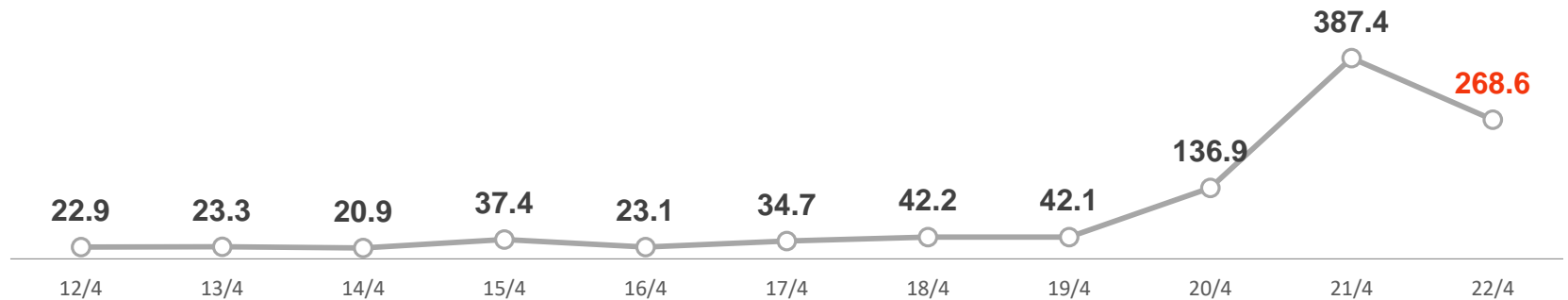
1株当たり 配当金



15/4期は、設立40周年記念配当2円を含めて記載しております。

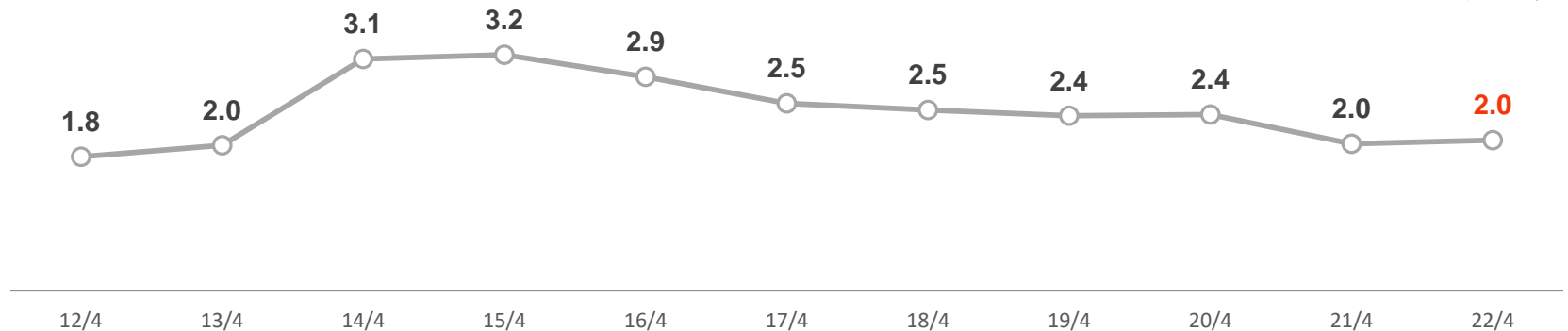
(単位：%)

配当性向



(単位：%)

株主資本配当率 (DOE)



株主資本については、配当による流出前の値を使用しております。

参考資料



(百万円)	17/4 (3Q) 非連結	18/4 (3Q) 非連結	19/4 (3Q) 非連結	20/4 (3Q) 連結	21/4 (3Q) 連結	22/4 (3Q) 連結	23/4 (3Q) 連結
売上高	6,186	6,194	6,164	7,352	6,305	7,104	7,695
売上原価	4,246	4,053	4,122	5,062	4,555	5,093	5,577
売上総利益	1,940	2,140	2,042	2,289	1,749	2,011	2,118
販売費及び一般管理費	1,407	1,633	1,677	2,112	1,969	2,177	2,339
営業利益又は営業損失	533	506	364	177	△219	△165	△221
経常利益又は経常損失	545	516	370	177	49	△87	△154
当期純利益	347	298	223	—	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失	—	—	—	66	20	△75	△153

(百万円)	17/4 非連結	18/4 非連結	19/4 非連結	20/4 連結	21/4 連結	22/4 連結	23/4(3Q) 連結
総資産	7,939	8,291	9,247	10,397	10,000	10,216	11,173
たな卸資産	529	453	586	868	952	1,222	1,421
流動資産	4,828	5,027	5,522	5,381	5,154	5,783	6,090
固定資産	3,111	3,264	3,724	5,015	4,846	4,433	5,083
流動負債	1,288	1,400	2,024	2,064	2,131	2,682	3,797
固定負債	194	185	290	1,321	1,155	967	925
自己資本	6,457	6,705	6,932	6,867	6,645	6,533	6,450
資本合計/純資産合計	6,457	6,705	6,932	7,012	6,713	6,566	6,450
資本金	566	566	566	566	566	566	100
負債・純資産合計	7,939	8,291	9,247	10,397	10,000	10,216	11,173

※ 20/4月期より連結決算を開始しております。



ご注意

本資料の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。